

留学体験レポート

国際文化学科 竹田眞子

留学によりアメリカという国の言語や文化を自分自身で体験できたことは、これからの自分の人生においても良い経験になった。まず、自分のルームメイトをみてアメリカ人はみんながみんなフレンドリーであるという自分の中で抱いていた想像と現実が違うことを突き付けられ、実際に体験するまで現実は分からないのだと学ぶことができた。ルームメイトとは、それぞれの生活習慣や文化の違いから気を遣うこともあったが、私の勉強を手伝ってくれて、ルームメイトと一緒に過ごした4か月は自分にしかない体験となったのである。大学の授業内では3人1組のグループで話し合うのがほとんどで、そのときの話題ごとに日本とアメリカの違いだけではなく他の国とも日本がどのように違っているのか気付くことが出来、新たに他の国について知ったことが増えた。授業外の時間ではCP (Conversation Partner) というのがあって週に2回 Northwest の大学生と話す時間が設けられていたが、その話す内容はパートナーそれぞれで私は日本や新潟の話から就職のシステムや政治の話など少し難しい内容の話もした。留学中に体験した様々な行事の中で Halloween と Thanksgiving holiday が特に印象に残った。Halloween のときはかぼちゃを彫りたいと思っていて実際に出来たのでうれしかったが、あまりにも彫るのが大変なので同時にもう2度とはやりたくないと思った。ホストファミリーに誘われ、街で行われた Halloween イベントに行ってみると子供たちがいろんなキャラクターや魔女などの衣装をしていてとても可愛かった。兄弟で衣装をしていたり、私のホストファミリーのように一家全員で衣装していたり、その模様は各家庭で特徴が違ってさすが本場の Halloween は違うなと思った。Thanksgiving holiday ではクリスマスツリーをデコレーションする機会があって、アメリカのクリスマスツリーのオーナメントには、その家の記念日を祝うオーナメントがあって、それらをツリーにデコレーションすることによって自分たちの人生を振り返りながらクリスマスを祝っているということを教わった。Thanksgiving holiday を通してアメリカの家庭についていろいろなことを学ぶことが出来、かつそれらを吸収することもできた。初めは聞き取ることが出来なかった RA (Resident Assistant) の Amanda の英語も、留学の最後の方には聞き取れるようになっていて、そのときは力が身に付いたのだと実感できてうれしかった。留学中には現地の大学の先生や生徒、クラスメイトやルームメイト、メリービルに住んでいる人たち、NUIS メンバー、留学前には先生方、学務課の方々、そして家族、留学前から日本に帰ってくるまでたくさんの人に支えてもらったからこそ、有意義な留学にすることが出来、この留学は私の中で一生残る貴重な経験となったのである。